



新しい米軍基地は絶対につくらせない!
そのために、海の上で座り込む人たちがいます。
その願いが叶う日まで、非暴力の闘いは続きます。

図というべきものだからです。辺野古の問題を知れば知るほど、私たちが暮らす今の社会がなんと非平和的、差別的、排他的なものなのかと気付かされるに違いありません。

話が長くなるため、ここでは辺野古の問題から見えてくる難しい社会論的なことは省略させていただきます。

巡らされました。しかし、私たちの新基地建設を止めようとする気持ちはこんなことで屈するものではありません！

金網の隙間からやぐらの内部に再び入り、そこで昼夜を問わず24時間一秒たりともやぐらをボーリング工事のために明け渡さないための海上座り込みが始まったのです。

海の上では突然の大雨、そして落雷の危険が迫ってもすぐに退避できる状況にはありません。

みなさんこんにちは。辺野古から現地の状況をお伝えします。初めて辺野古のことを聞く方には、読んでみてもわかりにくい点などがあるかもしれませんが、できるだけ想像力を働かせて今の辺野古の現状をぜひとも理解して頂きたいと思います。

本当に命がけの海上基地建設を止める闘いなのです。現在のところは、全国的に起きた施設局への抗議行動により夜間作業については行われていない状態になりました。

なぜならこの辺野古の新基地建設問題は、私たちが住むこの日本の抱えるあらゆる問題の縮図として、とにかく辺野古の現状についてお伝えしたいと思えます。

4月26日未明に突然行われた施設局による夜間作業については、心の底から憤慨しました。施設局は自らが規定したルールさえ破るのかー!!

夜間作業によつてボーリング工事もやぐらには(やぐら設置の申請に違反する)金網が張り

辺野古の新基地建設について8割以上が反対している沖縄の世論を無視して新基地建設工事を進めようとしています。

ですがそのような状況でも、辺野古現地では座り込み、海上阻止行動をがんばっている人たちによつて新基地建設は今も阻止され続けています。

辺野古の海が今のままで残されることを。新基地計画が無くなることを。

これは本当です！
ただ、その行動を続ける人たちは、か弱き一人の人間です。基地建設阻止行動は毎日行わ

一人一人の声行動が必要なんです。どうか助けてくださいーとして私たちと共に新基地建設を止める行動に参加してください！
お願いします！



単管足場
リーフ内の4箇所建てられている単管足場には、ウェットスーツを着込んだ4~5名の人が上り、その四方には海人の船がびっしり張り付いて、施設局の作業を止めています。



海人
辺野古の海を守るために駆けつけている国頭、東、金武、宜野座、石川の海人たち。



スパット台船
スパット台船を積んだクレーン船と、その航行を止めようと何度も前に割って入る小型船。ついには、クレーンでスパット台船を吊り上げ、降ろそうとしている場所に陣取り、スパット台船を設置させなかった。



差し止め訴訟
12月27日、ボーリング調査に反対する市民や近隣海域の海人ら68人が原告となり、国を相手にボーリング調査の差し止めを求める訴えを那覇地裁に起こしました。

辺野古に基地を絶対つくらせない大阪行動
osaka_henoko@yahoo.co.jp
http://www.geocities.jp/osakakoudou/

毎日更新される下記のサイトから辺野古の状況がわかります。
ちゅら海をまもれ! 沖縄・辺野古で座り込み中! <http://blog.livedoor.jp/kitihantai555/>
ジュゴンの家の <http://www47.tok2.com/home/dugong/>
晋くんの辺野古日記 <http://diary5.cgiboy.com/2/henokonikki/>